

5 金冠山・きよせの森

きんかんざん

富士山の絶景地から野鳥・植物・森林浴の森へ



▲だるま山高原の富士山

伊豆三絶（伊豆を代表する絶景地三ヶ所）の一つに数えられているのが「だるま山高原レストハウスからの富士山」である。ここは世界に知られた日本一の富士山の展望地として有名にしたのは、昭和14年（1939）に行われたニューヨーク万国博である。ここから写した富士山の大写真が日本の代表的風景として展示されたのである。縦17尺（約55cm）、横108尺（約33cm）の大写真の全面に孟宗竹を配し、竹林越しに富士山が見られるように展示、大絶賛を博したと伝わる。ここを起点として富士山の好展望地として知られた金冠山へのハイキングコースは子供から中高年まで誰でも歩ける手頃なコースである。

新緑や紅葉の時期も良いが、何より富士山が良く見える秋から冬が良い。また、周辺はマメザクラの名所なので花の咲く4月中旬もおすすりだ。コースとしては金冠山からきよせの森を経てだるま山高原レストハウスに戻る周回コースがよい。

修善寺駅から戸田行きのバスで27分、だるま山高原レストハウスで下車。車利用の場合はレストハウスの駐車場（無料）を利用するとよい。県道を少し行くと金冠山への登山口がある。雑木林を登るとすぐに芝生の広場。3〜4月ごろは各種の桜が咲く所だ。金冠山までは広く切られた防火帯の道が緩やかに上っている。富士見コースと呼ばれるように時折、右手の樹林の上に富士山が望める。

道が平坦になると正面に丸い金冠山が見えてくる。辺りはアセビの群生地。2〜4月には垂状の真っ白な花があちこちにこんもりと咲いているのが見られる。マメザクラも多く、4月には辺り一面薄いピンク色で染まる。マメザクラは伊豆地方ではコメザクラともいい、富士山地方ではフジザクラ、箱根地方ではオトメザクラとかハコネザクラとも呼ばれる、直径2cmほどの桜である。

防火帯が終わったら管理道（舗装）



▲マメザクラ



▲防火帯のような富士見コース

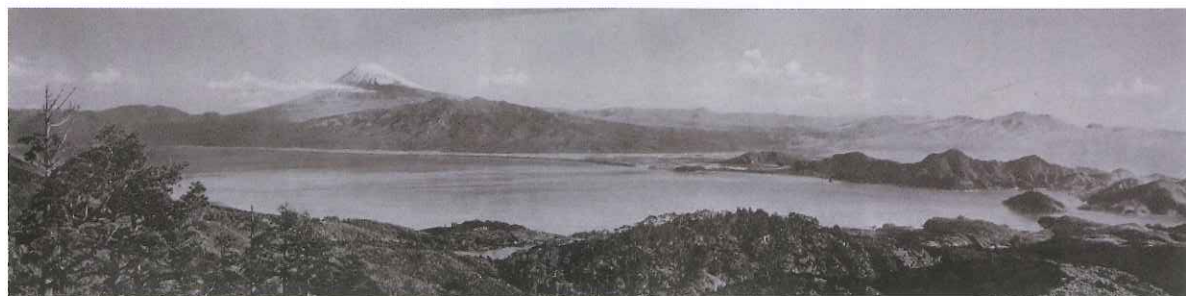


▲金冠山の富士山

コースタイム(参考)	
修善寺駅	バス 27分
だるま山高原レストハウス	バス 45分
戸田峠	10分 / 0.7km
きよせの森	45分
金冠山	40分 / 1.8km
富士見コース	35分
修善寺駅	バス 27分

●所要時間：約1時間35分

達磨山 3.9km
戸田峠 1.7km
だるま山高原レストハウス 0.21km
修善寺 虹の郷 8.1km



▲ニューヨーク万国博に出品された富士山の大会写真（複写）

